

資料1

(R8年度第2回 油津歴史文化遺産活用事業推進会議資料)

「油津の歴史文化遺産を活用した まちづくり計画」事業について

日南市総合政策部
産業経済部
教育委員会

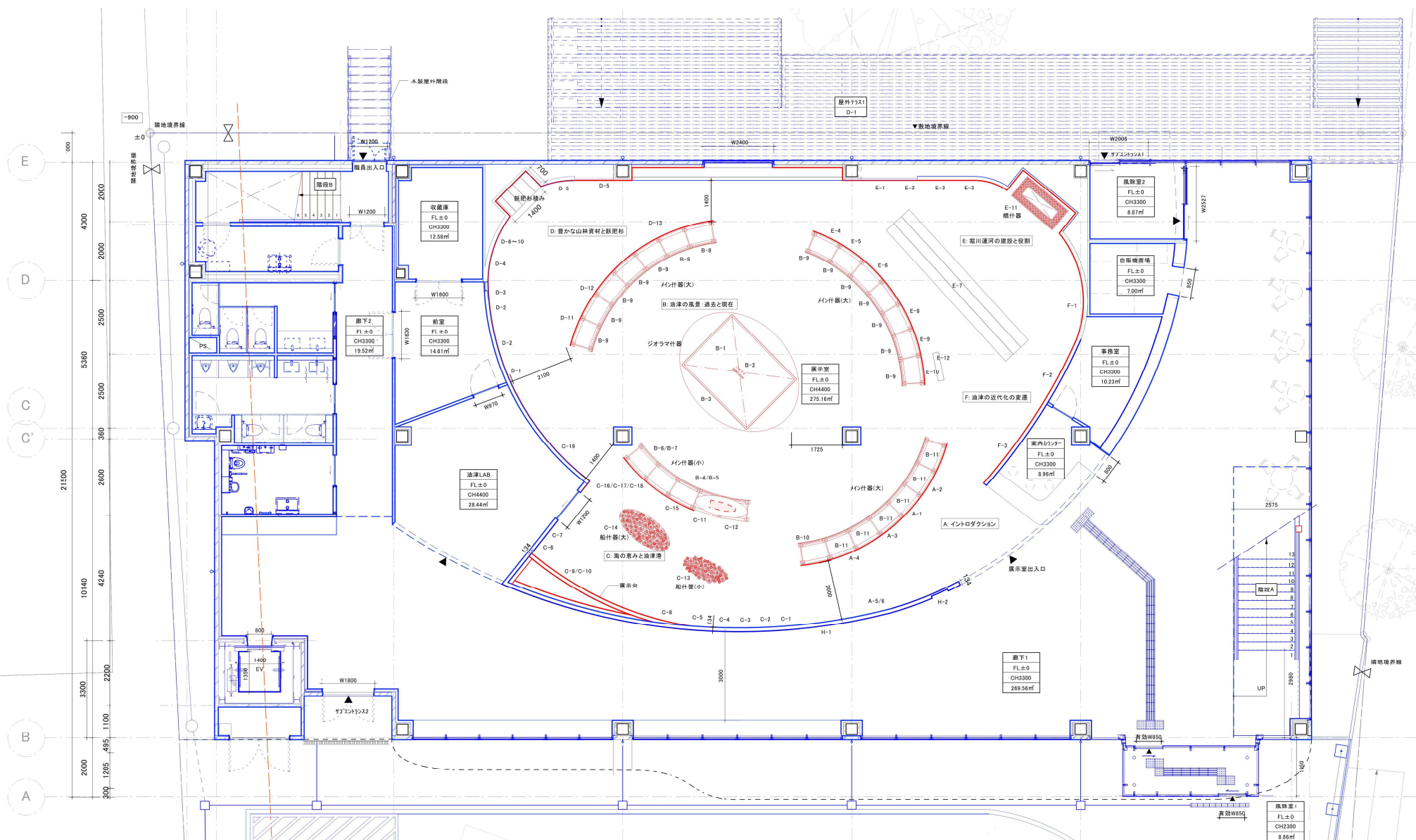
未来創生課
観光・クルーズ課
生涯学習課

【協議】

1. (仮称)油津歴史資料館の名称について

(仮称)油津歴史資料館の名称について

【1階の平面図】



【2階の平面図】



(仮称)油津歴史資料館の名称について

(仮称) 油津歴史資料館のイメージ（外観・国道側）



(仮称)油津歴史資料館の名称について

(仮称) 油津歴史資料館のイメージ（外観・夢広場側）



(仮称)油津歴史資料館の名称について

(仮称) 油津歴史資料館のイメージ（1階・エントランス）



(仮称)油津歴史資料館の名称について

(仮称) 油津歴史資料館のイメージ（1階・展示エリア）



(仮称)油津歴史資料館の名称について

令和8年6月2日（火）開催 第1回推進会議で提案した名称

案	名称案	提案理由
案1	油津歴史資料館	これまで仮称として使用しており、名称として定番化されているため
案2	油津歴史ミュージアム	案1を基に、若い世代にも親しみやすく、行きたくなる施設になってもらうため
案3	油津・堀川運河歴史資料館	展示内容が「堀川運河」と密接に関わっており、3大運河の一つとしてPRしていくため
案4	油津・堀川運河歴史ミュージアム	案3を基に、若い世代にも親しみやすく、行きたくなる施設になってもらうため

(推進会議で出されたご意見)

- ・ 名称について、「資料館」と言えるほどの資料がないのではないかな。
- ・ 「ミュージアム」とすると、来館者に対して過度に期待を高めてしまうのではないかな。
- ・ 周遊を促進する役割も担うのであれば、従来の施設同様「観光案内所」の標記は必要ではないかな。
- ・ 提案された候補名は、いろいろと詰め込みすぎている気がする。もう少しシンプルな名称でも良いのではないかな。「～歴史館」という事例もある

(仮称)油津歴史資料館の名称について

□ 名称（案）

油津・堀川運河物語館

～Aburatsu Horikawa Canal Storytelling Center～



□ 理由

特定のテーマや地域に根ざした歴史、文化、文学、伝承などを、資料展示だけでなく、映像やジオラマ、体験などを通じて「物語」として紹介し、来場者に親しみやすく伝えることを目的

□ 全国的事例

- ・ 太宰治疎開の家 旧津島家新座敷・太宰治まなびの家 物語館（青森県）
 - 作家・太宰治の生涯や作品を「物語」として紹介する施設。
- ・ 安曇野ちひろ公園 ちひろの物語館（長野県）
 - いわさきちひろの絵本の世界観や生涯を物語として体験できる施設。
- ・ 石巻市震災遺構門脇小学校 震災物語館（宮城県）
 - 東日本大震災の記録と教訓を、被災された方々の「物語」を通じて伝える施設。
- ・ 神流町恐竜センター 恐竜物語館（群馬県）
 - 恐竜の進化や生態を物語仕立てで紹介する展示施設。

(仮称)油津歴史資料館の名称について

外観イメージ



【報告】

2. 展示物制作等業務に係るプロポーザルについて

プロポーザルの概要

1 委託業務名 (仮称) 油津歴史資料館展示物制作等業務委託

2 委託する業務の概要

株式会社オンデザインパートナーズが作成した「展示制作等実施設計書」に基づき、実際の展示資料の設置やジオラマ等の制作等を委託

3 スケジュール

令和8年	<u>7月13日(月)</u>	公募開始
	7月29日(水)	参加表明所提出期限
	8月14日(金)	企画提案書提出期限
	8月下旬	審査
	9月上旬	契約
	3月中旬	完成予定

4 選定委員 「油津歴史文化遺産活用事業推進会議」委員 (前回推進会議で決定)

5 実施要領及び仕様書 資料2のとおり